

フードドライブの拡大・定着

<目的>

- ・家庭から発生する手付かず食品の有効活用の促進
- ・普及啓発やマッチングの推進によるフードドライブの拡大

<実施内容>

(1) フードドライブ実施団体への支援

資器材（のぼり旗、コンテナ等）の貸出し、食品提供側と受取側のマッチング支援、県特設ウェブサイトでのPR

常設窓口（例）



とやま生活協同組合みなみ店  
（寄付先：若者生きづらさ寄り添いネットワーク協議会）



【フードドライブ実施状況】

103件（66団体、15市町村で実施）  
うち、33件は常設で実施

【新たなマッチング】

㈱パローホールディングスと県内の子ども食堂が加盟する富山県子どもほっとサロンネットワーク※のマッチングにより、県内のパロー・サンコー15店舗が新たにフードドライブを開始（※平成30年4月設立、子ども食堂67か所が加盟（R6.3））



サンコー木津店  
（寄付先：オタヤ子ども食堂）



アルビス氷見店  
（寄付先：氷見市社会福祉協議会）

(2) 食育推進全国大会でのPR

<日程・会場>

令和5年6月24日（土）・25日（日）、富山テクノホール  
実績：95点（17.2kg）の食品が集まり、  
富山県母子寡婦福祉連合会に寄付



【食育推進全国大会でのフードドライブ】

◆課題◆

・フードドライブ実施団体等への支援及び普及啓発の推進により、県民参加の拡大と取組みの定着を図ることが必要

フードバンク活動の促進

<目的>

- ・県内のフードバンク活動の促進・定着

<実施内容>

富山県食品産業協会にフードバンク活動コーディネーターを設置し、フードバンク活動の普及啓発や食品の提供側と受取側のマッチングを推進

(1) 食品提供事業者の確保

①食品関連事業者にフードバンク活動の働きかけ  
賛同企業数：R6.3月末現在43社（R4：34社）

②業種別研修会の開催

(2) 受取側への働きかけ

- ・社会福祉協議会や子ども食堂等へ取組みを周知
- ・受取団体数：R6.3月末現在43団体（R4：35団体）
- ・食品の受け渡しについて調整

(3) マッチング

- ・事業者から寄せられた食品の情報をHP上で発信
- ・提供情報や受取側の条件等を考慮し、マッチングを実施

食品提供事業者と受取側とのマッチング件数（R6.3月末現在）：119件



【主なマッチング事例】

事業者	提供食品	提供先	受渡回数
(株)ボン・リブラン （富山市）	菓子類（常温）	県内子ども食堂、フードバンク団体	61回
(株)源 （富山市）	弁当類（常温）	市内子ども食堂（1件）	28回
(有)中村海産 （氷見市）	干物（冷凍）	県内社会福祉法人、県内外フードバンク団体など	80回

◆課題◆

・フードバンク活動のPR活動を継続し提供事業者・提供品を拡大するとともにマッチング支援を行い、フードバンク活動の促進・定着を図ることが必要

令和6年度の取組予定

フードドライブのマッチング推進

<目的>

- ・活動の継続、活性化
- ・県民の理解促進と参加の拡大、取組みの定着

<実施内容>

(1) とやまりレーフードドライブ・キャンペーンの展開

- ・実施団体への資器材（のぼり、コンテナ等）の貸出、広報協力（県特設ウェブサイトでの開催情報・実績の発信）等

(2) 食ロスゼロアクション推進事業

- ・フードドライブを含む食品ロス削減につながる取組みの動画を活用した普及啓発（SNS等でのデジタル広告などを通じて発信）

フードバンク活動の促進

<目的>

- ・県内のフードバンク活動の拡大・定着を図る

<実施内容>

(1) 「フードバンク活動コーディネーター」の配置

- ・フードバンク活動における当事者の確保
- ・食品の提供側と受取側の需給マッチングの実施
- ・関係者間における合意形成の補助

(2) 食品提供事業者の確保に向けた普及啓発の実施

- ・パンフレット等の配布やHPでの情報発信による普及啓発
- ・業種毎における話題等の共有と対応案についての協議・検討



【マッチング活動イメージ】